

審議会等の会議結果報告

1. 会 議 名	第 35 回 松阪市手話施策推進会議
2. 開 催 日 時	令和 3 年 7 月 20 日（火）18 時 30 分～20 時 40 分
3. 開 催 場 所	松阪市障害者福祉センター 2 階 社会適応訓練室
4. 出席者氏名	（委 員）深川誠子、松島茂人、牧戸淳、南美幸、中里恵子、 亀田紀子、石川圭一、大辻結花、若山幸則、越川元博 （事務局）西嶋秀喜、渋谷万里子、村田智美
5. 公開及び非公開	公開
6. 傍 聴 者 数	0 名
7. 担 当	松阪市福祉事務所障がい福祉課 TFL 0598-53-4059 FAX 0598-26-9113 e-mail : shogai.div@city.matsusaka.mie.jp

○協議事項

- ・ 令和 3 年度手話施策推進事業について
- ・ 令和 3 年度「まちかどミニお手話べり会」について
- ・ 手話パンフレットについて
- ・ 手話普及啓発物品について

第 35 回 松阪市手話施策推進会議 議事録

日 時：令和 3 年 7 月 20 日（火）18 時 30 分～20 時 40 分

場 所：松阪市障害者福祉センター 2 階 社会適応訓練室

出席委員：深川誠子、松島茂人、牧戸淳、南美幸、中里恵子、亀田紀子、石川圭一、大辻結花、若山幸則、越川元博

欠席委員：栗田季佳

事務局：西嶋秀喜、渋谷万里子、村田智美

傍聴者：0 名

1. あいさつ 議長あいさつ

2. 報告・協議事項

<報告>

■令和 3 年度手話施策推進事業について

事務局（資料説明）

（質疑なし）

<協議>

■令和 3 年度「まちかどミニお手話べり会」について

事務局（資料説明）

議長 日程、内容、スケジュール、司会をどなたが担当するか、会場配置図の案①と②についてどのようにするか、この 5 つについて協議をお願いします。まず日にちですが、事務局の方から説明がありましたように、11 月 13 日は小学校の文化祭とたくさん重なるようですので、13 日は避けて 20 日で決めてはどうかという提案でした。皆様よろしいでしょうか。

（全員賛成）

議長 では日程は 11 月 20 日をお願いします。時間については、去年並みに午前 10 時から午後 2 時でよろしいでしょうか。

（全員賛成）

議長 では日にちは11月20日、時間は午前10時から午後2時までということでお願ひします。続いて内容について、去年はスタンプラリーをやりませんでした、今年は2年ぶりに復活させるのか、しない方がいいのか、それから動画とパネル展示について、昨年と同じでいくか、変えていったほうがいいのかについて、ご意見を伺いたひと思ひます。まず、スタンプラリーについていかがでしょう。2年前のスタンプラリーの方法は、挨拶や動物等の単語が書かれた手話カードが貼ってあるところから、自分で単語を選び、その単語について手話を教えてもらひ覚えてスタンプを押してもらひ。そしてまた次の単語のところへ行くといった方法です。2年前までは、参加された方のお名前も最後に教えるということ、4カ所ありましたが、今回の案は3カ所です。スタンプラリーはあった方がいいと思ひれますか。

委員 コロナが懸念されますが、時間もそんなにかからない気がする、私はあった方がいいと思ひます。

委員 イベントは日曜日で、コロナが心配なのでやらないほうがいいような気がします。

議長 では、スタンプラリーをやった方がいいと思われる方挙手をお願いします。

(8名挙手)

議長 やった方がいいという意見の方が多ひですね。反対の方もやってみてよろしいでしょうか。

委員 スタンプラリーを行うことに賛成ですが、3密について少し不安はあります。2、3年前に開催した時は、非常にたくさんの方に集まっていたましたが、今はやはりコロナウイルスのことも心配です。ですが、開催は11月でまだ期間があるので、様子を見ながらというような回答になります。その時の状況でよかったら行ひ、危険だったらやめるとか、そういう判断が必要かなと思ひます。反対というわけではありません。

委員 私はやったほうがいいかなと思ひます。感染対策を十分して、参加者とうろう者の間にアクリル板を設置されていることと、委員が言われたように3密にならないように、例えば次の方が待っている位置を足跡で示すとか、1メートルずつ距離をとるとか、人が多くなりそうだったら展示や動画の方を案内するとか、

案内する係の私たちが上手く誘導して、密にならないようにしたらどうかと思います。

委員 番号札を作って渡し、順番に来ていただいたら、密を避けられるのではないかと思います。

議長 皆さんご意見ありがとうございます。アクリル板を使う、待つ場所の間隔を空ける、番号札を配る等して感染対策をきちんと取るという意見でした。そのような対策を十分に取って行うのはいかがでしょうか。

委員 私はそれだったら賛成です。

議長 スタンプラリーについては行うという方向で決めていきたいと思います。動画と展示の内容については、昨年と同じでよろしいでしょうか。もっとこんなものを展示したら、こんな動画はどうか、といった意見がありましたらお願いします。

委員 動画も展示も去年のものを活用するということですか。去年参加された方が一緒だなと思われると思うので、動画も今年用に新しいものとか、コロナについてこんな手話があるよとか、加えたらいいのかなと思います。展示の方は、昨年は手話サークルの紹介がなかったので、今年は再開してもらいたいです。それから、いろいろなところでやられている手話事業について、令和3年度の写真を加えて展示してもらおうといいかなと思います。

議長 私もやはり、去年見られた方が去年と同じだとがっかりされるのを避けたいので、新しいものを取り入れていただくといいと思います。

委員 例えば、去年作ったものと今年新たに作ったものを交互に流していくという方法もあります。ただ、1つが長いとそれをずっと見るのは大変なので、ある程度コンパクトにまとめていただくといいと思います。やはり新しくしていただいた方が充実感があっていいんだろうなと思います。それと、スタンプラリーの件について賛成ですが、皆さんが心配されたように、密にならないか懸念があります。わざわざお名前を全員に書いてもらう必要はないのかなと思いますが、人が固まらないように整理していかないといけないので、そこはだいぶ工夫がいるのかなと思います。要するに感染対策を取りながらやっていければと思います。

議長 動画につきまして、昨年は、市長の挨拶と、聴覚障がい者とのコミュニケーション方法についてと、手話ダンス等を流していたと思います。当然、市長の挨拶は、また今年度新しく作って流していただき、コミュニケーションについては同じでもいいかなと思います。手話ダンスについては、新しいものに変えてみたらいいかなと私は思います。皆さんいかがでしょうか。

委員 子ども向けに童謡などを手話をつけてやってはどうかと思います。子どもも親も来ていただけるのではないかと思います。

議長 童謡ですね。例えば、どんな歌が子どもさんにいいですかね。最近の子どもさんが歌っている歌を私はあまりよく知らないんです。例えば鯉のぼりとか、チューリップとか、たきびとか、そういう童謡を最近の子どもさんは歌うんでしょうか。実は私たちろう者は歌はあまり好きではないんです。聞こえる皆さんは、手話をつけて歌う手話コーラスとかすごく興味を持たれますが、私たちは教えることはできてもリズムがなかなか取れないので、歌は少し苦手です。ですので、聞こえる皆さんと聞こえない私たちと一緒に手話で歌って、それを撮って流すというのはいいことだとは思いますが、ぜひ委員の皆さん、一緒に歌えたらいいですね。

委員 学校にいた時には集会で、手話で「世界に一つだけの花」をよくやりました。最近「パプリカ」を。「パプリカ」も子どもたちは好きで、やはり動きと手話がマッチングするのが、子どもたちにはすごく受けます。童謡は、幼稚園や保育園や認定子ども園では歌っているの、いろいろな歌を年代に合わせて歌えるといいかなと思います。

議長 私は高校で手話を教えていますが、高校生もやはり「パプリカ」について、手話を教えてくださいという声が多かったです。本当に流行りましたよね。そういうのは皆さんに見てもらっても楽しいと思います。では、動画を作るには、いつくらいまでに収録を終えないといけないでしょうか。

事務局 8月、9月から撮影可能で、10月中には撮る必要があると、撮影を依頼する広報課の方に聞いております。

議長 今日中に動画の内容を決めなければいけないでしょうか。次の会議では間に合わないでしょうか。

事務局 動画を撮るかどうかについては今日決定していただきたいですが、動画の内容につきましては、次回9月の会議でも間に合うかと思われます。

議長 動画はいいというご意見が多かったので、ぜひやりたいと思います。撮影の時はぜひ皆様協力してください。スタンプラリーと動画はするということで決まりました。

委員 スタンプラリーと動画をそれぞれ行うということですが、少し狭いのではないかと思います。2年前の会場は広くてよかったです。バルーンアートがあれば、子どもたちはとても喜んでくれるのではないかと思います。少し密集するのが心配ですが。皆さんの中で反対意見があれば、意見は取り下げたいと思います。

議長 バルーンアートは確かに子どもさんたちが喜ぶと思いますが、実際に手で触ることがあるかもしれないので、コロナ対策を考えると今年はやめた方がいいのではないかと思います。事務局のご意見はいかがでしょうか。

事務局 委員さんが言われました通り、バルーンは子どもたちにとって嬉しいと思うのでいい意見だと思いますが、やはりコロナ感染対策という点では、接触機会を増やしてしまう可能性があるので、今年はやめておいた方がいいかなと思います。

議長 よろしいでしょうか。来年コロナウイルスが収束してきたらやりたいですね。続いてタイムスケジュールです。去年はポスターの表彰式はありませんでしたが、今年はそれを予定に入れてもらっています。入選者は10人で、保護者の方もいらっしゃるよ。会場がいっぱいになってしまわないか心配ですが、何かいい方法を考えていただいているのでしょうか。

事務局 提案させていただいたものは、皆様に協議していただく上でのベースですので、今回の会議で協議していただけたらと思います。

委員 ポスターの表彰式をする流れでいいかと思うんですが、入選者の方が皆集まって写真を一緒に撮ったりしますよね。それを例えば2人ずつぐらいに分けて撮るとか、なるべく皆さんが寄らないようにする。名前を呼ばれたらその人が前へ出て表彰を受けて、写真を撮るみたいな形でやっていけば、そんなに皆さんが固まらないやり方になるのかなと思います。

議長 そういった方法は確かにいいですね。

委員 表彰式は朝だけです。午前と午後と2回に分けるという方法があるのではないのでしょうか。前もってビデオで撮って当日動画を流したりもできます。

委員 前もって撮って動画を流すのも素敵だと思いますが、多分撮ってあっても、実際その場に見に来ることがあるんじゃないかなと思うと、一緒じゃないかな。密に気を付けながら表彰式をした方が、前もって撮っていただく負担もなくなるので、表彰式をやった方がいいのではないかと思います。

委員 私も先ほど委員さんが言われたのと同じ意見です。賛成します。

議長 そうですね。事前に撮影されても本番でも見たくになりますよね。

委員 この表彰式というのは、いつもどなたが賞状を渡されるのでしょうか。

事務局 例年市長に依頼をしておりますが、市長の都合が悪い場合は、副市長に来ていただくことになるかと思います。

委員 でしたら、できたら1回の方がいいのかなと思います。当然密に注意して、1回の表彰式の中で分かれてやられた方がいいのかなと思います。

議長 事前に動画を撮るのではなくて、当日表彰をする。感染対策には十分注意をして進めるということですね。よろしいでしょうか。

委員 表彰される方は10名でよろしかったですか。

事務局 4年生から6年生の各学年4名、計12名になります。

委員 保護者さんを入れると、最大で50人くらいですよ。委員会等でよく辞令交付をさせていただきますが、今現在はやはり辞令交付はしないです。机の上に置かさせていただく形でしています。コロナ対策で接触機会を減らすために動画撮影という形をとっても、撮影時に接触することになってしまいます。どのあたりで表彰されるのですか。ステージはないんですよ。

事務局 今回の会場はステージはございませんので、現時点では会場配置図の中で、動

画を見るための椅子が並べてあるところを想定しています。

委員 11月にコロナの状況がどうなっているか分かりませんが、コロナ対策を考えるのであれば、表彰式を行うのは難しいのかなと現時点では考えます。とりあえず行うことを予定しておいて、途中で難しいので中止という方法も取れます。すごく難しいですが、今の状況では私はやらない方がいいという意見です。

委員 確かに今、行政内部ではそのあたりを堅くやっています。もし、ポスター表彰をやるという前提で考えたときに、普通は表彰状をきちんと読みあげますが、例えば、表彰は簡略化しますということで、お名前を呼び、入選されたことを読み上げて、少し距離を取って表彰し、家族さんだけが写真を撮るといったようにできますよね。接触を避けるやり方であれば、それほど心配はしなくていいのかなと思います。あくまで、表彰式をやるという前提の話からスタートしていますが。

議長 表彰される方が12名で、その保護者の方が同行される場合に、コロナ対策のために保護者は1名に限るといようなご連絡をさせていただく。表彰の時には、皆さんが一斉にということではなく、1人ずつ前に出てきてもらい表彰する。残りの11人は、例えば階段付近や離れたところでお待ちいただく、というような工夫もできるのかなと思いました。そういうやり方では難しいでしょうか。いずれにせよ、表彰式をやるかやらないかということを決めておきたいと思います。

委員 去年は夏休みが短くなってポスターを書くという時間はないだろうからということで、ポスターを募集せず、従って表彰しなかったと思いますが、今年ポスターを募集するのであれば、自分が書いたポスターがどうなったのかということは知りたいと思います。展示をしてもらって、この絵は私（僕）が書いたんだよということを、みんなにも知ってほしいかなと思うので、皆さんが言われた感染対策を十分した上で、1人ずつ前に出てもらい名前と絵だけを紹介して、賞状や記念品は袋へ入れておいて渡すだけにします。そういった方法の方が子どもたちにとっても励みになるかなと。また、同じ学校の子どもたちにとっても、あの子が表彰されるなら行ってみようとなって、他の手話も覚えようとなり、他の子どもたちにも広がっていく機会になるのかなと思うので、やってみてはどうかと思います。ただ、11月の時点で緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が出たりしたらやめるというように決めておく。やはり今年は募集するならば表彰式もするといった前提でやったらどうかなと思います。

議長 それでは、感染対策を十分とった上で工夫をして表彰式を行うということ。それから、開催日が近づいた時に、状況によっては中止という判断をするということを含めて、表彰式を行うということで決定してもよろしいでしょうか。

委員 表彰式を行う方向で進めて、開催日が迫ってきたときにやっぱり危ないということになれば、資料に書いてある昨年度のスケジュールに合わせて開催するという考え方に切り替えればどうかなと思います。

議長 良い案ですね。コロナウイルスの感染状況に合わせていろいろ判断していきたいと思いますので、とりあえず現時点では、表彰式を行うということで進めたいと思います。続いて、司会をどなたが担当するかについて、昨年度の場合はポスター表彰やオープニングセレモニーがありませんでしたので、司会は誰も担当しておりませんでした。その前までは、ろうあ協会の方で私が担当させていただいていました。今年度については、まずは立候補がありましたら、ぜひ名乗りを上げていただきたいと思います。司会は 20 分間だけです。推薦という形でもよろしいですが、いかがでしょう。

委員 今まで深川副会長だったので、今回は松島委員を推薦したいと思います。

議長 牧戸委員から松島委員を推薦するという声をいただきましたが、松島委員、いかがですか。

委員 引き受けます。

議長 では今年の司会は松島委員に決まりました。よろしく願いいたします。最後に、会場の配置図です。案①、②のどちらの案がいいかということで協議をお願いします。案①の場合は昨年度と同じで、パネル展示がまっすぐ並んでおります。案②の場合はパネルがそれぞれ斜めに平行に向き合うように配置されています。

委員 例えば表彰するときに、自分の書かれたポスターの前に立って、写真を撮るとするならば、パネルが斜めに向いている案②の方が、写真を撮りにやすいのかなと思います。

委員 私も案②で賛成です。去年は案①の方で、動画を見ている場所の方に手話クイズがありましたが、すごく狭くて入って行きにくかったです。動画を見てい

る人がちらっと見ることはありましたが、じっくり見る人がすごく少なかったかなと思うので、案②のように隙間があった方が、動いていろいろなものを見る同線ができていいのかなと思いました。

委員 会場は全体としては狭い場所かと思います。スタンプラリーの場所が人の行き交う駐車場の出入口に近いので、少し不具合が起きるのではないかと。動画の位置はそのままスタンプラリーとパネル展示の場所を入れ替えてはどうかと思ったりします。

委員 去年のこのイベント時に、私はパネルの長機のところで景品を配ったりしていました。2階の駐車場ですが、ほとんどのお客様は2階の駐車場よりも1階にとめると思います。去年はこのスタンプラリーの位置で、別の団体がすごく大きな迷路を置いていましたが、お客様が2階に車をとめていくことはそんなになかったかなと。むしろ1階をつなぐ階段から上がって来る柱のところが2階への主な同線で、配置図の衣料品とフードスクエアとの間が、人が唯一通るところだと思っています。なので、どちらかという人の流れは、パネルと長機の付近にすごく集中していたと記憶しています。スタンプラリーのところは、意外と出口との間がかなり空いていて、すごく余裕があると思います。パネルと長機の配置は、私はどちらでもいいかなと思いますが、長機が1連になっていると、いろいろな景品を選んでもらい渡すことができるし、パネルも一連で見ることができるので、その点ではパネルを1列に配置する良さがあるのかなと思います。

議長 今お話を聞いて、去年の様子を思い出していました。長機に景品を並べてあるのを、皆が見ながら触っていたので、コロナウイルスのことを考えると少し心配かなと思います。確かに選んでいただくのはすごく楽しいと思いますが、触ってから嫌だとなって置いていかれると感染の危険性が高まるのかなと思心配です。持ったものをそのまま持ち帰っていただくとか、直接手渡して持ち帰っていただくとかがいいかと思います。

委員 先ほどのお話で去年は迷路があったというのを聞いて、今年はその迷路は作られていないんですね。だからその部分を使っているということですね。先ほどスタンプラリーとパネル展示を入れ替えた方がいいと言いましたが、昨年迷路をしていた場所も使えるのであればこのままでいいと思います。

委員 手指消毒と検温はどこでされる予定ですか。

事務局 手指消毒については、屋上の駐車場の出入り口あたりと、1階から階段で上がったところ、スタンプラリーの受付場所の3つを考えています。検温については、スタンプラリーに参加される方のみを対象にしようかと検討しております。配置図に「スタンプラリー開始場所」と示してあるところです。

議長 手指消毒は3カ所、検温は1カ所ということですね。分かりました。

委員 パネルが斜めの場合に、人があっちこっちと行き来して混んでしまうので、一方通行にしてはどうかと思います。

議長 同線が交差しないように、矢印をつけるなどして一方通行になる工夫をすることですね。

事務局 一方通行にすれば、人の行き来を綺麗に整理できるのでいいと思いますが、実際は四方から人が入ってこられるので、完全に一方通行にさせるのは難しいと思われる。

議長 配置図の案については、案②の斜めに展示している方がいいという意見が多いということではなかったでしょうか。

委員 案①は、動画の椅子を置いてあるところから見ると、パネル展示の手前がクイズと手話サークルの展示ですね。案②は、手前が手話ポスターになっていますよね。何かこのあたり違いがあるのでしょうか。

事務局 手話ポスターの写真の撮りやすさを考慮しました。案①は、手話ポスターを外側に展示した方が、案②は、内側に展示した方が、子どもたちや保護者の方がポスターの写真を撮りやすいのかなと考えそのように配置しました。

委員 去年、配置図の青い部分の催し物のところに、洋服がたくさんかかっていて、スクリーンを置いた場所と近かったんです。パネルが通路の方へ迫ってくるような感じがあり、結構きついのかなという印象でした。個人的には案②がいいと思いますが、もう一度測ってみることも大事かなと思います。やはりパネルを斜めにするとなんか幅も取りますし、通路として通りにくいのであればやめるべきかもしれないので、そこは一度現場を見ながら判断した方がいいかもしれないです。それと、長机についても、展示側は動画やアンケート記入等で混み合う可能性があるかもしれないです。スタンプラリー側は、スペースに結

構余裕があると思うので、スタンプラリーはもう少し駐車場側の方に寄せることができると思います。そこに長机を並べてもいいかもしれません。

議長 確かに会場の広さを確認できていないので、分からないところがありますね。

委員 会場のイメージや実際の状況が分かりませんが、当日に向けて、実際に並べて考えていくとわかってくるのではないかと思います。今の段階では、この配置図だけではなかなかイメージが掴めないです。

事務局 去年は、当日の会場準備の際に、配置を変更させていただいています。今年も実際は当日にならないと分からないこともあると思いますが、ベースとしてどちらの配置図がいいのか、協議していただきたいと思います。

議長 本番の様子を見て、当日に配置を変えることもできるということですね。皆さんには案①と②のどちらがいいのか、挙手をお願いしたいと思います。

案①がいいと思われる方：2名

案②がいいと思われる方：6名くらい

委員 フードスクエアと衣料品の中の縦の通路と、衣料品あたりの横の通路が、1番人が行き来する。案②をベースにして、その同線に重なるようなら、案①にしてはどうかと思いました。

議長 私も実は案②の方がいいと思っていました。コロナの感染防止のためにも、パネルが斜めにあった方がいいのかなと思ったのと、①の場合だと、反対側の様子が全く見えなくなってしまい、動画のところの状況が掴めなくなってしまうので、斜めがいいなと思いました。案②がいいというご意見が多かったので、今後コロナウイルスの状況で変更があるかもしれませんが、案②をベースに決めたいと思います。

委員 動画を見る場所に少し疑問があります。去年見ていた時に、人の頭で見づらかったんです。なので、椅子の並べ方を楕円にして、前に誰も人がいないような形で並べていただくのがいいと思いました。人数もできるだけ少なめに、一列で見られるように。

事務局 実際に去年は、見づらかったという意見がございましたので、コロナの感染対策も含めて、そのような意見を取り入れさせていただきたいと思います。

議長 イベントについて協議したい内容がすべて決まりました。

■手話パンフレットについて

事務局 （資料説明）

議長 ⑤に今年度の手話ポスターの入選作品を載せるということですね。⑥の写真のところは、広報まつさかの1月号から7月号までに掲載された手話のイラストを載せるのはいかがでしょうか。イラストだけでは分かりづらいので、QRコードを載せて、動画に繋がるようにしたいと思っています。7つのイラストが掲載されるということですが、載せるスペースはありますか。

事務局 左側の説明文の文字を少し小さくする等して、載せることは可能だと思います。

議長 では、まず表紙についてご意見をお願いします。

委員 特に何か意見はなく、これでいいかなと個人的には思っております。

委員 私もこれでいいと思います。色合いもすてきななので。

委員 多分こちらは毎年チャレンジドプレイス希望の園さんをお願いして書いてもらったのではないですか。毎年変わっていたような気がするんですが。もし、今年も書いていただけるなら、希望の園さんにお任せして、新しく書いてもらった方がいいのかなと。難しいようでしたら、このまま同じものでもいいかなと思います。

委員 私はそんなに変わらなくてもいいんじゃないかなと思います。同じようなパターンでいくのも1つの方法ではないかと思います。

委員 私も同じでいいと思います。分かりやすく見やすいと思います。

委員 全体を変えるということではなく、レイアウトを少し変えてみてはどうかなと思います。去年のイベントの片付けをしていた時に、廃棄されたポスターがたくさんたまっていたんです。それを見た時に、裏面に字が書けるのにもったいないなと思ったので、何枚かいただきました。ですので、ポスターとパンフレットの数について、計画的に考えていただきたいなと思いました。お願いの1つです。お願いします。

委員 各項目の番号を 1, 2, 3…と指で表していますが、①とか②でいいと思います。数を表す指文字のイラストと、項目の番号が混乱すると思うんです。あとは4の指文字と裏表紙の指文字一覧の「け」が、形が同じで混乱するので、項目の数字については、指の絵をなくし、普通の数字だけにしたいなと思います。

委員 表紙の「松阪市手と手でハートをつなぐ手話条例」のロゴは、ポスターでも同じような感じですか。

議長 そうです。

委員 色合い等がすごくいいと思います。企業等では、文字のデザインや絵はずっと同じものを使っていて、そのロゴを見たらこの企業だと分かるようにしています。せっかく今まで皆さんにたくさん配ってもらって、少しずつ普及していていると思うので、字体や色等のデザインはそのままにして、それ以外の背景等を変えていただくなりしたら、新しいバージョンができたとなっていていいのではないかと思います。

議長 なるほどと思いました。

委員 このマークと条例が一体化されるのであれば、やはりこれはずっと同じような形で継承していくのも1つの方法だと思います。やはり統一するものは統一して、変えていくものは変えていけないと考えております。

議長 私の意見もお伝えしたいと思います。条例のマークは、皆さん随分知っていただけるようになってきたと思うので必要だと思います。個人的には、条例の字が細くて弱々しいイメージがあり、もっと元気のある字体がいいなと思っています。様々なご意見をいただきましたが、これを受けて事務局の方から何かご提案等ございますか。

事務局 表紙につきましては、デザインを継承していくのも1つの方法だと思いましたので、今後検討させていただきます。先ほど委員さんが言われました、数字については、指の表示をなくすかどうか協議していただきたいと思います。

委員 算用数字の意味で表す手の形と、漢数字の意味で表す手の形とを、ろう者は区別しています。4と指文字の「け」がとても気になります。

議長 「数字の手話です」といった小さな解説のような文言を付け足していただくことはできないでしょうか。

委員 多分、内容とか表示は 2019 年に委員をされてた方が決められたのではないですかね。数字も、算用数字だけじゃなく、指文字の数字もあった方が、覚えてもらえるからということで決めたと思います。これを見てこれがただの数字ではなくて、手話で数字を表していることは、多分手話を知らない人も想像してもらえるのかなと思うので、わざわざ「数字の手話です」と書く必要はないのかなと思います。

議長 先ほど委員がおっしゃっていただいた通り、今のまま載せていきたいかなと思います。吹き出しとして算用数字が隣に合わせて書かれていますので、このままでよろしいのではないかと思います。このままでよろしいですかね。

委員 結構です。

議長 では、最後に、裏面（最終ページ）ですが、このままでよろしかったでしょうか。

（異議なし）

議長 よろしいですね。ありがとうございました。

■手話普及啓発物品について

事務局 （資料説明）

前回の推進会議において、様々な意見を上げていただいた中で、日常的に使っていける下敷きを手話イベントや出前講座等で配布できるように、今年度作成する方向で考えております。下敷きに手話のやり方や手話条例について載せたいと思っております。そこで表面と裏面の案を作成しました。大きさは資料と同じ B5 サイズになります。表面はデザインの違いで 3 種類作ってみました。裏面には簡単な手話と、指文字一覧を載せる予定ですが、載せる手話については、手話イラスト一覧から 8 個程度選びたいと思います。どれがいいかご意見をお願いします。

議長 まず表紙の絵を決めたいと思います。挙手をお願いします。
案①がいいと思う方：2 名

案②がいいと思う方：1名

案③がいいと思う方：6名

では、案③の意見が多かったので、案③に決めていきたいと思います。続きまして裏面です。このイラストは三重県聴覚障害者協会の事務局で作成しているもので、掲載の許可をいただきました。

委員 手話のイラスト一覧だけを載せていただいた方が覚えやすいかなと思います。手話を何も知らない方にとっては、手話というところのイメージをするんですよ。

委員 私も同じです。手話初心者にとって、指文字一覧はなかなか難しいと思います。それと下敷きの表面の案③ですが、これは、パンフレットの背景等のデザインが新しくなったらそれと同じ形で連動していくのでしょうか。それとも、このデザインが下敷きになるのか、どちらなのでしょう。

事務局 下敷きとパンフレットについては、デザインを合わせた方が覚えやすくいいかなと思いますが、皆さんいかがでしょうか。

委員 私もそう思います。

委員 私は指文字も覚えてもらった方がいいかなと思ったんですが、初めて見られる方が手話の方が覚えやすいということでしたら、イラストの方がいいかなと思いました。

委員 私もこのイラスト一覧がいいと思うんですが、低学年の子たちは漢字が難しいので、ふりがなをふるか、ひらがなでお願いしたいと思います。

(他委員も同様に手話イラストのみを載せるとの意見)

議長 手話イラストのみがいいという意見を多くいただきました。ご確認させていただきたいのですが、この下敷きのベースは透明ですか、白色ですか。

事務局 裏表両面に印刷するので、白色で考えております。

議長 表は案③、裏面はイラスト一覧のみを載せるということで決めたいと思います。これで予定していた協議内容はすべて終了しました。何かご質問やご意見はあ

りますか。なければこれで会議を終了させていただきたいと思います。進行を事務局にお返しします。

事務局 ありがとうございます。次回の推進会議の開催日程につきましては、9月頃を予定しています。日程が決まり次第、後日開催通知を送りますので、よろしくお願いいたします。